

## 景観計画リレーフォーラム（第3回南部編）開催状況

日時：平成27年9月19日（土） 13:30～15:40  
場所：川西南公民館  
参加者：21名

### 1. 情報提供

「川西市景観計画について」  
川西市都市計画課

- ・川西市景観計画の2つの特長について説明。

「生活シーン」から見た景観

生活者の視点つまり「生活シーン」の視点から、景観形成に関わる様々な主体が一体的に、良好な景観の保全や形成に取り組んでいくことで“居心地の良さ”と“愛着や誇り”を実感  
参画と協働による景観形成  
市・市民・事業者の役割を明確にし、それぞれがお互いの役割を認識し、連携しながら、協働して景観形成を推進



情報提供の様子

### 2. 講演

「多様な生き物が住む環境の保全活動がうるおいやゆとりを感じる河川景観に！」  
講師：流域ネット猪名川 代表 檜原 朋子 氏

- ・わがまち再発見！写真展応募写真の内、河川景観に関する写真をピックアップして紹介。
- ・「くらしと川のつながり」について、過去の景観写真を基に解説。昔は、地域の人々が力を合せて、生活に必要な水を汲み上げ、橋を造り、また牛の放牧のように、なりわいを通して河川環境が保全されていた。また、子どもたちが身近にある川で魚を取れば、それが夕飯として食卓に出るなど、循環サイクルが形成されていた。しかし高度成長期を迎え、川は危険な場所としてくらしと切り離された結果、河川環境が悪化した。
- ・1997年の河川法改正を契機に、住民・企業・自治体・河川管理者が協働して川を守り育てていく活動が活発化した。猪名川流域では、各エリアの活動団体が力を合せてクリーン作戦を実施している。
- ・協働の幅を広げて、児童・学生や地域の人と共に「学び遊ぶ場」の整備を行う団体もいる。川に入れば、川が良くなり、良好な河川景観の形成に繋がる。
- ・生物多様性は河川景観の保全において重要であり、外来種植物の駆除などを通して、川の環境を再生し、循環サイクルを取り戻す必要がある。



講演の様子

### 3. 映像上映

「猪名川物語 2007 子どもたちに伝えたいこと（ダイジェスト版）」

#### 来場者アンケートの状況（回答20件）

- ・各活動に関わっているが、参画と協働をしっかりとしていきたい。
- ・小学校など小さな頃からの教育をしっかりとしていくことを心がける。また、地域の住民に伝えていく事によって少しでも良くなればと思う。
- ・景観計画と参画と協働がどう結びついているのか疑問だったが、情報提供や講演を聞いて「なるほど！」と感じた。